

笠松町連結財務書類4表を公表します

連結財務書類4表とは、町の普通会計（一般会計）のほかに国民健康保険などの特別会計や水道事業会計に加え、町が構成団体となっている一部事務組合・広域連合と町が出資している法人などの関係団体を、一つの行政サービス実施主体としてみなし、その資産および負債、行政コスト、資金収支の状況を明らかにするものです。

平成22年度決算に基づき、笠松町連結財務書類4表を作成しましたので公表します。

貸借対照表（バランスシート）

平成23年3月31日現在 (単位:千円)

決算期末の財政状態を明らかにするためのものです。

左記の資産の部は、これまでに取得した財産の総額を記載し、右側には資産を形成する際に要した財源の調達状況を表わしています。

資産の部		負債の部	
1. 公共資産	38,362,340	1. 固定負債	11,913,602
固定資産(有形・売却可能)		(将来の負担)	
2. 投資など	1,897,354	2. 流動負債	879,059
うち基金など	1,717,188	(来年度の負担)	
うち出資金・その他	180,166	負債合計	12,792,661
3. 流動資産	2,163,575	純資産の部	
うち資金	→2,073,078	純資産合計	29,630,608
うち未収金・その他	90,497	(これまでの世代の負担)	
資産合計	42,423,269	負債および純資産合計	42,423,269

行政コスト計算書

経常的な費用と収入

[自平成22年4月 1日]
[至平成23年3月31日]

(単位:千円)

行政サービスに費やされた費用(コスト)と、その行政サービスに対する直接の対価(使用料など)を表わしたものです。

経常行政コスト合計から経常収益合計を差引いたものが純経常行政コストとなります。

経常費用		
1. 人にかかるコスト	人件費など	1,651,637
2. 物にかかるコスト	物件費、減価償却費、維持補修費など	2,344,023
3. 移転支的コスト	社会保障給付、補助金など	7,091,877
4. その他のコスト	支払利息など	388,578
	合計	11,476,115
経常収益		
使用料・手数料・分担金・負担金・寄附金・保険料・事業収益など		3,860,302
純経常行政コスト (経常費用－経常収益)		7,615,813

純資産変動計算書

純資産の増減

[自平成22年4月 1日]
[至平成23年3月31日]

(単位:千円)

資産と負債の差額である純資産の1年間の変動内容を表わしたものです。

期首純資産残高		29,743,024
純経常行政コスト		→△7,615,813
一般財源	町税、地方交付税など	4,218,007
補助金など受入	国県補助金など	3,366,621
その他	臨時損益、資産評価替による変動など	△81,231
期末純資産残高		29,630,608

資金収支計算書

現金の動き

[自平成22年4月 1日]
[至平成23年3月31日]

(単位:千円)

1年間の資金の動きを明らかにする計算書です。

経常的収支の部、公共資産整備収支の部、投資・財務的収支の部に分けて表わしています。

期首資金残高		1,870,906
1. 経常的収支	(収入) 町税など(支出) 人件費・社会保障給付など	1,383,154
2. 公共資産整備収支	(収入) 国県補助金など(支出) 公共資産整備費など	△259,260
3. 投資・財務的収支	(収入) 国県補助金など(支出) 地方債償還費など	△921,168
4. その他	経費負担割合変更に伴う差額	△554
	当期収支	202,172
期末資金残高		2,073,078

※財務書類4表(普通会計・連結ベース)は、町ホームページと役場1階の行政情報コーナーで公表しています。